ニュースレター

ひょうご新民家 21

No.18

関西住環境フーラム 21

平成22年6月10日発行

新民家研究会

あたらしい " 摂津・播磨の家 " を創りましょうなぜ " ひょうご新民家 2 1 " ですか

私たちの NPO は「ひょうご新民家・2 1」と名付けていますが、これは日本の民家のよい点を現在の住宅に生かそうと考えたからです。日本の民家は身近な材料で作られ、その美しい姿は、長いあいだ人々に愛され受け継がれて来ました。大きな茅葺屋根は省エネですし、リサイクルも容易です。畳や建具も規格化されていましたので、どの家にもぴったりと合いました。

神戸には現存する日本最古の民家があります

六甲山の北側には豊かな農村地帯がありますが、その中に "箱木の千年家"と言われる日本 最古の民家があります。行って見ますと、壁が多くて大変閉鎖的なのに驚かせられます。今よ く見られる民家は、縁側や窓が多くて開放的ですが、その面影は少なく、かえって古代の竪穴 住居が土のなかから立ちあがって来たようです。

庶民は長い間"平地式"の家に住んでいました

この千年家は地方の庄屋をつとめた家ですが、庶民は長いあいだ床(ゆか)が地面から上がっていない家に住んでいました。今はほとんど保存されていませんので見ることは出来ませんが、この家は床下がないので、下から熱が逃げることがないので省エネ住宅にぴったりです。また、家に上がるのに段差がないので、ユニバーサルデザインから見るとたいへん進んでいる家に見えます。

しかし、いまの家は"家の作りようは夏をむねとすべし"や床が上がっているのが"常識" となっていてほとんど忘れられています。

「新・摂津・播磨の家」を創ろう

私たち NPO は、いまの家作りの"常識のうそ"に挑戦して、本当の日本の民家のよさを生かし、将来を見越した「新・摂津・播磨の家」を創ろうとしています。ご期待ください。

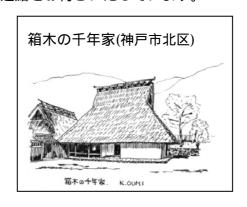
勉強会開催中

公開勉強会を4月27日、5月(開催済)、6月29日の3回行い、その後は、事業に向けて非公開の勉強会を続けてまいります。

関心を持っていただいたり、参加ご希望の方のご連絡をお待ちいたしています。



本をご希望の方は事務局まで



学生による宿泊体験型モデルハウスワークショップの試み 地元工務店と大学生の交流

兵庫県立大学環境人間学部・教授 土川忠浩

姫路市の当 NPO 法人の会員(有)ハヤシ工務店(林勝也社長)が今年初めにオープンした宿 泊体験型モデルハウス「わくわく体験館」において、ゼミ学生(13名)と私が5月13日・ 14日宿泊し、第1回目のワークショップ(以後 WS と略す)を行いました。

この WS の最終的な目的は、地域工務店と学生の協働によって、地域における木造住宅の推進するための方策を探り、ユーザに対して地域木造住宅の魅力を分かりやすく伝える具体策を考案しようとするものです。

第1回目は、林社長の「思い(熱意)」を分析するWSです。18時に現地集合、19時から2時間で行いました。まず、社長から住宅を建てることの「思い」を20分程度で語っていただきました。学生には、語られたことについて、3つのカテゴリ(具体的に明確なこと、やや曖昧なこと、曖昧なこと)に分けて付箋にメモするように事前に指示してあります(社長には伝えてありません)。これは、語られた「曖昧なこと」に、社長の具体化したいのだができない潜在的なものがあると仮定し、そのところで学生との協働のタネがあると考えるからです。第2回目はこれをもとに、その具体化を探るWSを6月に行う予定です。



林社長 思いを語る



2班に分かれてワークショップ



学生発表

イベント案内

夏休み、秋のイベントシーズンを迎えて会員企画のイベントが目白押しです。 見学会、セミナーは会員から情報提供を頂き次第、HPに掲載いたします。HPから会員HPに リンクして、是非、ご確認の上、参加をお待ちいたしています。

一緒に活動しませんか!! 是非ご参加下さい。

発行: NPO 法人 ひょうご新民家 21 URL; http://www.shinminka21.com

大阪; TEL: 06-6941-8336 FAX: 06-6941-8337

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-7-4 MF 天満橋ビル 5 階

西宫; TEL&FAX: 0798-22-3011 Mail: QZS05450@nifty.com

〒662-0044 西宮市平松町 8-27